

1. 日程：平成27年4月23日（木）～30日（木）
2. 場所：富山県富山市富山国際会議場
3. 参加者数・参加国：708名(3分の2が外国人)、27カ国からの参加

4. 概要

北極科学サミット週間 (ASSW) とは、国際北極科学委員会 (IASC) が中心となって毎年開催される北極研究に関する会議の集合体 (IASC 関連会合) である。北極研究を進めている世界各国の研究者等が集い、北極に関するあらゆる分野間の調整・協力や科学的成果について集中的に議論を行うことを目的としており、世界の北極研究者や関連機関の代表者にとって最も重要な会合の一つとして位置づけられている。ASSW は 1999 年ノルウェーでの開催を皮切りにこれまで世界各国で 16 回開催されてきており、今回初めて日本で開催された。

5. 主催者等

- 主 催：国際北極科学委員会 (IASC)
共同主催：日本学術会議
共 催：国立極地研究所、北海道大学、海洋研究開発機構、等
後 援：文部科学省、外務省、宇宙航空研究開発機構、等

6. 開会式出席者

高円宮妃久子様(国際科学サミット週間 2015 (ASSW2015) の国際北極研究シンポジウム開会式典へ御臨席いただき、お言葉を賜った。また、ASSW の名誉議長にも御就任いただいた。)

- 藤井基之 文部科学省 文部科学副大臣
宇都隆史 外務省 外務大臣政務官
伊藤忠彦 衆議院議員(北極のフロンティアについて考える議員連盟役員)
石井隆一 富山県知事

等

7. ASSWの概要

ASSW最終日に以下の提言が取りまとめられ公表された。

(主要ポイント)

- ・日本を始めとする非北極圏からの参加を含む科学的な国際協力の強化が必要。
- ・政策決定者は、北極の環境変動が地球全体に及ぼす影響に強い危機感を持つべき。
- ・持続可能なインフラの発展のためには、科学者、コミュニティ、政府、産業界を巻き込んだ共同アプローチが必要。